

とびっくす TOPICS ～in海外～

2009.9.24 外二-020

国際業務室 内線3701.3715

011-233-1093

「桃の季節」

桃の季節になると、果物即売所みたいところに「桃」が並びます。

この「桃」、見た目は美味しそうですが、日本の桃とは似て非なるものです。

なぜなら、こちらの桃は硬いのです。例えていえば、日本のリンゴと桃の中間ぐらいの固さです。また甘みも強くありません。

日本人にとっては、お世辞にも美味しいとは言えないでしょう。

もうひとつ違いがあります。それは「皮が薄い」と言うことです。

皮が果肉にピッタリとくっついていて、手で剥ぎ取ることはできません。

こちらでは皮は剥かずに、洗ってそのまま「ガブリッ！」と食べるのがスタンダードです（リンゴ丸かじり感覚）。

「皮なんて食べてウマイのかなあ？」と疑問に思っていた私は、皮を剥いた桃を瀋陽人に食べさせてみました。

すると、「皮ごと食べるよりも美味しい！」という予想外の反応。ただし、「自分で皮を剥くくらいなら、そのまま食べるよ。」という注釈つきでした・・・。



瀋陽事務所：正司 毅

「ニセ札キタ」

中国に来て5ヶ月。ついにニセ札が流通してきました。初めてニセ札を手にしたのは8/10で「20元」でした。どこかでもらったお釣りに紛れ込んでいたのだと思います。タクシーのお金を払う時に発覚。少し運転手ともめました。

ニセ札は初体験だったので。

その熱も覚めやらぬ8/14、なんと「100元札、3枚」がニセ札だと発覚しました。

出所は・・・なんと銀行のATMです。ニセ札を見分けるポイントはいくつかありますが、簡単なポイントとしては 表裏に左側のみの半円があり、透かすと綺麗な輪になる、

右上の数字の下を斜めから除き混むと数字が浮かび上がる、

特殊な光を当てると数字が浮かび上がる、これらが挙げられます。中国は本当にニセ札が多いと言われており、被害額を少なくする為に最高額は100元（約1400円）にしているらしいです。経済発展が目覚ましい中国も、整備しなければならぬ問題は多々あります。

ちなみにこのお金・・・銀行で換えてくれないのでただのゴミです。お金返して・・・



北京事務所：中島 康成

2009年9月9日

写真は結婚登記所（結婚届の提出場所）の写真です。日本では「九」は「苦」を連想するとして忌み嫌う傾向がありますが、中国では「八」、「六」と並んで縁起のいい数字とされています。中国語で「九」は「jiu」と発音し、「久」と全く同じ発音をします。「9」が3つ並び09年09月09日は結婚届けには最も適した日です。ご存知の方も多いと思いますが、中国の結婚事情は特に新郎側に厳しいものがあります。

マンション、車を用意するのは大体新郎側ですが、上海のマンションは日本円で1億円を超えるものも珍しくありません。（中価格帯の物件でも全般的に東京より高いと思います）<結婚登記所での順番待ち 2009年9月9日> 加えて結婚後の生活においても上海は「カカア天下」の地域といえるでしょう。

私が近くのスーパーへ買い物に行った際も、理由は判りませんが怒り心頭の奥さんのあとを大きなショッピングカートをつつむきながら押して歩く上海人の「ご主人」を良く見かけました。上海の男性は一般に女性には優しく、料理も奥さんよりはるかに上手、という人が多いようですが、上海人女性に言わせると「上海人の男はへなへなして男らしくない」という声が多いのだそうです。そんな現実を知って知らずか、結婚登記所には多くの人で溢れていました。

北陸銀行 上海事務所：南 敏律

【平成21年10月1日付の人事異動で国際業務室所属となりましたので、今月最終号です。】



サハリン事務所については、次号「ロシアビジネス交流会」の特集を組む予定ですので、今月はお休みとなります。